

第一生命 投資信託 主なファンドラインナップ



主なリスクの種類と概要

(詳しくは、各商品の目論見書等をよくお読みください。)

リスクの種類	概要
為替リスク	(実質)組入外貨資産について対円で為替ヘッジを行わない場合、一般的に外国為替相場が対円で下落(＝円高)した場合、基準価額が下がる要因となります。
価格変動リスク	(実質的に)株式に投資するファンドは、株式市場の変動、また、(実質的に)不動産投信等(REIT)に投資するファンドは、不動産の価値および当該不動産による賃料収入等の変動により、基準価額が下がることがあります。
金利リスク	一般的に金利が上昇した場合、債券、不動産投信等(REIT)の価格は下落し、基準価額が下がる要因となります。
信用リスク	組み入れている株式・債券・短期金融資産等の発行体が経営不安、倒産に陥った場合、(実質的に投資対象とする)不動産投信等(REIT)が、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合、基準価額が下がる要因となります。
個別銘柄選択リスク	個別銘柄の選別による収益を積み上げることを目指すファンドの場合、投資した銘柄の価格変動によっては、市場全体の動向にかかわらず、基準価額が下がることがあります。
流動性リスク	(実質的に)市場規模や取引量の少ない投資対象に投資するファンドは、組入れ資産を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない場合、また売買取引が困難となる場合、基準価額が下がる要因となります。
カントリーリスク	新興国においては、通貨や経済の状況が先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化が為替市場や債券市場におよぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や債券市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。
期限前償還リスク	モーゲージ債の原資産である住宅ローンは、一般的に金利が低下すると借り換えによる返済が増え、金利が上昇すると借り換えによる返済が減少する傾向があり、モーゲージ債の価格は上下します。(実質的に)モーゲージ債に投資するファンドは、住宅ローンの期限前返済の増減にともなう金利感応度の変化により基準価額が上下したり、基準価額が大きく下がる場合があります。
再投資リスク	モーゲージ債に投資する場合、投資したモーゲージ債の期限前償還などにより生じた金銭は、その時の実勢金利にて再投資しなければならないため、金利低下局面では、再投資後の利回りが、当初期待した利回りより低くなる場合があります。したがって、(実質的に)モーゲージ債に投資するファンドは、モーゲージ債の期限前の償還金の増減により、基準価額が上下します。
資産配分リスク	複数の資産に資産配分を行うファンドは、配分比率が高い資産の価値が下落した場合や、複数資産の価値が同時に下落した場合には、ファンドの基準価額がより大きく下落する可能性があります。
国別配分リスク	投資対象国の配分比率を機動的に変更する運用を行う場合、この国別配分がファンドの収益の源泉となる場合もありますが、投資対象国資産が予期しない値動きをした場合、損失を被る可能性があります。

その他費用等

信託事務の処理に要する費用、監査報酬、有価証券などの売買にかかる手数料、外貨建資産の保管に要する費用などが信託財産から支払われます。なお、受託銀行の立て替えた立替金の利息、借入金の利息がかかる場合は、当該費用が信託財産から支払われます。(その他費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
 ※上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。
 ※DIAM新興資源国債券ファンドが主要投資対象とするブラジル債券においては、海外からの投資については、債券購入時に発生する為替取引に対し、金融取引税が課せられます。この場合、追加設定などによりブラジル債券を購入する際にかかる当該税金をファンド全体で負担するため、既存受益者も含めた全受益者が負担することになります。なお、今後税率の見直しがあった場合等には、前記内容が変更になる場合があります。

※当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託取得のお申込みにあたっては、契約締結前交付書面(目論見書及び目論見書補完書面)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本の保証はありません。※投資信託は、保険契約・預金等ではありません。保険契約者保護機構、預金保険機構および投資者保護基金の保護の対象ではありません。※海外休業日等により、当社営業日等であっても、ご購入やご換金が出来ない日があります。※外貨建資産を組み入れているファンドは、外国為替相場が対円で下落(＝円高)した場合、基準価額が下がる要因となります。※投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。※契約締結前交付書面(目論見書及び目論見書補完書面)のご請求は、第一生命投信コールセンター(0120-443-874)までお問合せください。※投資信託の設定・運用は委託会社が行います。

お問い合わせ・資料請求・ご購入のお申込みは・・・

第一生命 投信コールセンター

フリーダイヤル ヨイシサンノハナシ

0120-443-874

良い資産の話

取扱商品の詳しい内容、基準価額の推移等についても、お気軽にご照会ください。

※受付時間：平日9:00～17:00
※コールセンターへのお電話は、当社業務の運営管理及び サービス充実の観点から録音させていただいております。あらかじめご了承ください。

お届けしたのは・・・

投資信託の収益分配金に関するご説明

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

分配準備積立金：上記①、②のうち、当期の分配金に充当されなかった残りの金額をいいます。

信託財産に留保し積み立てられ、次期以降の分配金に充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託において、追加設定により、既存受益者への分配可能額が減らないよう調整する(公平性を保つ)ために設けられているものです。(追加信託の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分)

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

ケースA

前期決算日 10,500円 (500円 ③+④)
 当期決算日 10,600円 (100円 ①+②)
 当期決算日 10,500円 (500円 ③+④)

* 分配対象額 500円

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

ケースB

<前期決算日から基準価額が上昇した場合>

前期決算日 10,500円 (500円 ③+④)
 当期決算日 10,550円 (50円 ①+②)
 当期決算日 10,450円 (450円 ③+④)

* 分配対象額 500円

ケースC

<前期決算日から基準価額が下落した場合>

前期決算日 10,500円 (500円 ③+④)
 当期決算日 10,400円 (80円 ①)
 当期決算日 10,300円 (420円 ③+④)

* 分配対象額 500円

上記それぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA：分配金受取額 100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額との差0円 = 100円
 ケースB：分配金受取額 100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額との差▲50円 = 50円
 ケースC：分配金受取額 100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額との差▲200円 = ▲100円

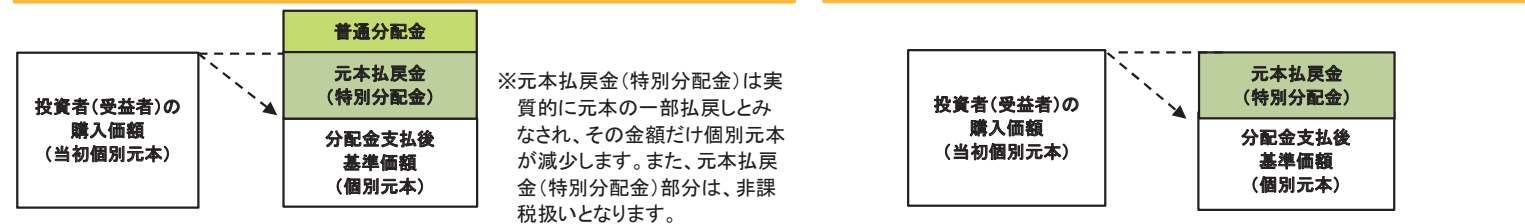
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者(受益者)のファンド購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

つみたて NISA 専用ファンド (インターネット取引専用)		国内外の資産にバランス投資するなら…					国内外の資産にバランス投資するなら…			国内株式に投資するなら…				
ファンド名 【愛称】	たわらノーロード 日経225	たわらノーロード 全世界株式	たわらノーロード 先進国株式	たわらノーロード 新興国株式	たわらノーロード バランス (8資産均等型)	リスク抑制世界8資産 バランスファンド 【しあわせの一步】	One 世界分散セレクト (Aコース) / (Bコース) / (Cコース) 【100年ギフト】	投資のソムリエ	フィデリティ・ バランス・ファンド	One国内株オープン 【自由選択】	日経225 ノーロードオープン	フィデリティ・ 日本配当成長株・ファンド (分配重視型)	損保ジャパン 日本株オープン 【むむらへ帽子】	フィデリティ・ 日本小型株・ファンド
運用会社	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	フィデリティ投信	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	フィデリティ投信	SOMPO アセットマネジメント	フィデリティ投信
ファンドの 特徴	日経平均株価(日経225)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	MSCI オール・カンTRIES・ワールド・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) に連動する投資成果を図ることを目的として、運用を行います。	MSCI コクサイ・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) の動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	主として8つのマザーファンド受益証券へ均等に投資することを通じて、各資産クラスの代表的な指数に連動する投資成果をめざして運用を行い、実質的に国内株式、国内債券、先進国株式(除く日本)、先進国債券(除く日本)、新興国株式、新興国債券、国内リート、先進国リート(除く日本)に投資します。	国内外の8資産(公社債、株式および不動産投資信託証券(リート))に分散投資を行い、中長期的に安定的なリターンを獲得を目指します。基準価額の変動リスクを年率2%程度(注)に抑えながら市場下落局面でも負けない安定的な運用を目指します。年6回の決算時に、利子・配当金などを基礎として、安定的な分配を行うことを目指します。なお、基準価額の水準により、値上がり益からも分配することがあります。(注)この数値は目標値であり、常にリスクが一定であること、あるいは目標値が達成されることはいずれを約束するものではありません。	わが国を含む世界各国のさまざまな資産への分散投資を通じて得られる収益の獲得による信託財産の成長を目指して運用を行います。お客様の資産運用ニーズに合わせて、目標リターン、配分方針、および目標分配水準の異なる3つのコースから選択できます。各コースは、基準価額が2000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。Aコース: 分配をなるべく抑え、資産の成長を目指します。Bコース: 初回分配から5年程度を目安に、1万円当たり50円を奇数月に分配することを目指します。Cコース: 初回分配から5年程度を目安に、1万円当たり120円を奇数月に分配することを目指します。	主に国内外の公社債、株式および不動産投資(REIT)にマザーファンドを通じて実質的に投資し、それぞれの配分比率を適宜変更します。基準価額の変動リスクを年率4%程度(注)に抑えながら安定的な基準価額の上昇を目指します。(注)この数値は目標値であり、常にリスクが一定であること、あるいは目標値が達成されることはいずれを約束するものではありません。	マクロの投資環境の変化に応じて投資スタイルを適宜変更します。その局面でベストと思われる投資尺度を活用した銘柄選択を行います。	わが国の株式を主要投資対象とし、日経平均株価(日経225)に連動する投資成果を目指して運用を行います。	わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されていく株式を主要投資対象とし、高水準の配当等収益の確保を図るとともに投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。	主として、日本の株式に分散投資すること、リスクを軽減しつつ信託財産の長期的な成長と安定した収益の確保を目指します。「東証株価指数(TOPIX)」をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。本来の投資価値に対して、市場価格が割安となっていると考えられる銘柄に投資します。	個別企業分析により、比較的規模の小さい高成長企業(市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される企業)を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。	
決算日(原則)	10月12日	10月12日	10月12日	10月12日	10月12日	1・3・5・7・9・11月の各11日	Aコース:3・9月の各15日 B・Cコース:1・3・5・7・9・11月の各15日	1月11日、7月11日	11月30日	8月29日	8月10日	1・4・7・10月の各10日	7月15日	11月30日
分配金の取扱い (受取り/再投資)	再投資	再投資	再投資	再投資	再投資	受取り	受取り	再投資	再投資	再投資	再投資	受取り	再投資	再投資
お申込単位	5,000円以上1円単位	5,000円以上1円単位	5,000円以上1円単位	5,000円以上1円単位	5,000円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	10万円以上1円単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位	10万円以上1円単位	10万円以上1円単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位
お申込価額	お申込日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の基準価額
お申込手数料(※1) 【消費税10%込、金額別】	なし	なし	なし	なし	なし	①1千万円未満:1.10% ②1千万円以上:なし	①1千万円未満:2.20% ②1千万円以上:1.10%	①1千万円未満:2.20% ②1千万円以上:なし	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	なし	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:1.65%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%
信託報酬(※1) 【年率、消費税10%込】	0.143%	0.1133%	0.09889%	0.1859%	0.143%	0.759%	【実質・概算】 0.985%	1.540%	最大1.680%程度	1.760%	0.550%	1.1880%	1.65%	1.7930%
信託財産留保額 (※1)	なし	なし	なし	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	なし	なし	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.1%	なし	なし	ご換金請求日の基準価額の0.3%	なし	ご換金請求日の基準価額の0.3%	ご換金請求日の基準価額の0.3%	なし

外国株式に投資するなら…		国内外の資産にバランス投資するなら…					国内外の資産にバランス投資するなら…			外国債券に投資するなら…			国内債券に投資するなら…			
ファンド名 【愛称】	グローバル・ハイクオリティ 成長株式ファンド (限定為替ヘッジ/為替ヘッジなし) 【未来の世界】	グローバル ESG ハイクオリティ 成長株式ファンド (為替ヘッジなし) 【未来の世界 (ESG)】	アライアンス・バーンスタイン・ 米国成長株投資 D コース 毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	eMAXIS S&P500 インデックス	One グローバル中小型 長期成長株ファンド 【キセキ】	DIAM世界好配当株オープン (毎月決算コース) 【世界配当倶楽部】	米国インフラ関連株式ファンド (為替ヘッジあり) (為替ヘッジなし) 【グレート・アメリカ】	新光US-REITオープン 【ゼウス】	DIAMワールド・リート・ インカム・オープン (毎月決算コース) 【世界家主倶楽部】	DIAM J-REITオープン (毎月決算コース) 【オーナーズ・インカム】	野村PIMCO・ 世界インカム戦略ファンド	USストラテジック・インカム・ファンド (Aコース(為替ヘッジあり)/ Bコース(為替ヘッジなし)) 【債券王】	DIAM高格付インカム・ オープン (毎月決算コース) 【ハッピークローバー】	DIAM新興資源国 債券ファンド 【ラッキークローバー】	ドルマネーファンド	DLIBJ公社債オープン (短期コース)
運用会社	アセットマネジメント One	アセットマネジメント One	アライアンス・バーンスタイン	三菱UFJアセットマネジメント	アセットマネジメント One	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	野村アセットマネジメント	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne	アセットマネジメントOne
ファンドの 特徴	主として世界の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。ポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。【限定為替ヘッジ】と【為替ヘッジなし】からお客さまの投資ニーズに合わせて選択できます。	主として世界の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指します。ポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力、ESGへの取り組みなどの評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。	マザーファンドを通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としたアクティブ運用を行います。	S&P500インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として対象インデックスに採用されている米国の株式に投資を行い、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象インデックスの変動率に一致させることを目的とした運用を行います。	主として、日本を含む世界の中小型株に実質的に投資を行い、安定的な配当収入およびキャピタルゲインを享受することを目指します。世界各国(日本を除く)の様々な業種に分散投資を行います。毎月決算を行い、原則として配当等収益を中心に分配を行うことを目指します。	主として世界各国(日本を除く)の好配当株式に投資し、安定的な配当収入およびキャピタルゲインを享受することを目指します。世界各国(日本を除く)の様々な業種に分散投資を行います。毎月決算を行い、原則として配当等収益を中心に分配を行うことを目指します。	主として、米国の生活インフラ関連企業の株式に実質的に投資を行います。【為替ヘッジあり】と【為替ヘッジなし】から、お客さまのニーズに合わせて選択できます。	主として米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	日本を除く世界各国の不動産投資(REIT)を主要投資対象とします。原則として為替ヘッジは行いません。	東京証券取引所に上場し、東証REIT指数に採用されている(または採用予定)のJ-REIT(日本の不動産投資)を実質的な主要投資対象とします。	世界各国(新興国を含みます。)の債券等(国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債権(バンクローン)等)および派生商品等を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。年2回決算型のAコース(為替ヘッジあり)・Bコース(為替ヘッジなし)と、毎月決算型のCコース(為替ヘッジあり)・Dコース(為替ヘッジなし)があります。	主として米ドル建て米国債券に投資し、各債券種類への投資比率を機動的に変更することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債などです。	主として“高格付資源国”の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。	主として“新興資源国”の現地通貨建ての国債等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。	米国短期金融マーケットへの投資を通じて、利子等収益の確保と、円安・米ドル高時の為替益の享受により、好リターンの獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。	主として国内の公社債に投資し、中長期的な観点でリスクの軽減に努めながら信託財産の成長をはかることを目指すファンドです。組入時に BBB- 格以上 (R&または) JCRによる格付を基準とします)の国内の公社債を中心に投資します。
決算日(原則)	9月6日	7月14日	毎月15日	1月26日	12月20日	毎月26日	2月16日、8月16日	毎月5日	毎月9日	毎月16日	A・Bコース:4・10月の各16日 C・Dコース:毎月16日	毎月23日	毎月5日	毎月19日	3・6・9・12月の各10日	3月21日、9月21日
分配金の取扱い (受取り/再投資)	再投資	再投資	受取り	再投資	再投資	受取り	再投資	受取り	受取り	受取り	受取り	受取り	受取り	受取り	再投資	受取りもしくは再投資
お申込単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位	1万円以上1円単位	30万円以上1円単位	1万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	30万円以上1円単位	10万円以上1円単位	1万円以上1円単位
お申込価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の翌営業日の基準価額	お申込日の基準価額
お申込手数料(※1) 【消費税10%込、金額別】	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	なし	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:3.30% ②1千万円以上:2.75%	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満2.20% ②1千万円以上0.55%	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:2.20%	①1千万円未満:2.20% ②1千万円以上:1.10%	①1千万円未満:2.75% ②1千万円以上:1.65%	なし	なし
信託報酬(※1) 【年率、消費税10%込】	1.650%	1.848%	1.727%	0.330%	1.694%	1.210%	1.705%	1.6830%	1.7380%	1.10%	1.8480%	【実質・概算】 1.3040%	1.10%	1.65%	1.045%	【最大値】 0.440%
信託財産留保額 (※1)	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	なし	なし	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	なし	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.1%	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	なし	なし	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.1%	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.2%	ご換金請求日翌営業日の基準価額の0.3%	なし	ご換金請求日の基準価額の0.05%

※1 ファンドの費用は、「お申込手数料」、「信託報酬」、「信託財産留保額」他にもございますので、裏面の「その他費用について」を必ずご覧ください。

この資料は両面構成です。裏面も必ずご覧ください。